

# 特集 始めませんか？ エコな暮らし

～木で暖まる冬の楽しみ方～

気づけば今年も残り2カ月を切り、冬の足音が近づいています。「そろそろ冬支度を」と考えているあなた。この冬は一味違ったエコなぬくもりで暖をとりませんか。

皆さんのご家庭にはどんな暖房器具が備えてあるでしょうか。その中でストーブは、ほとんどのご家庭にあると言ってもいい暖房器具の代表格。そんなストーブに少し目を向けてみましょう。

## 薪ストーブやペレットストーブに着目



### 柔らかな炎が生み出す 心地よさ

現在、石油ストーブを使っているという方が多いと思いますが、数十年前までの私たちの生活は山林とは切り離せず、山の恵である木材をさまざまに活用し、暖をとるにも木は欠かせませんでした。ストーブは部屋を暖めるだけではなく、生活を楽しむ

ツールとして利用する人も増えていて、インテリアとしても人気が高まっています。中でも少しずつ増えてきているのが、薪や木質ペレットを燃料として使うストーブ。木を燃やして暖めるこれらのストーブは輻射熱が放出され、石油ストーブにはない「心地よさ」を感じることで、癒やされるという人も少なくありま

せん。

しかしながら、薪ストーブやペレットストーブは、石油ストーブにはない、煩わしさがあります。薪の調達や煙突掃除などが必要になるため、手に負えないという方も多くは、この面倒な部分をいかに楽しみに変えていけるかが、薪ストーブ・ペレットストーブを導入するポイントのようです。



## スタイル 1

### ペレットストーブ



レトロな雰囲気とマッチ  
JR芸備線の山ノ内駅前にある、手作り服と雑貨のお店「ののほな」では、2年前からペレットストーブを使っています。この店を営む店主の仁井加

須美さんは、実家が営んでいたお店の地下にあった倉庫を改修して、手作りの服や雑貨を扱うお店を3年前にオープン。ペレットストーブは店の中ほどに据え付けてあり、入り口を入るとすぐ目に飛び込んできます。倉庫を改修して



ののほな店主  
仁井加須美さん

ペレットは軽いのので扱いやすいですし、手が汚れにくいのでいいですね。ストーブにペレットを入れておけば、勝手に火元に落ちて燃えていくのでいちいち入れなくてもいいですし、ペレットが落ちていくコロコロという音もいいですよ。ペレットストーブはアンティークな感じで、エコ感もあっていいですね。



手作り服と雑貨のお店  
hand made ののほな

住所：山内町1416-4  
☎0824-74-0503  
営業時間：10:00～17:00  
定休日：水・木・日・祝（臨時休業あり）



写真右奥に見えるのが  
ペレットストーブ。お  
店のアクセントになっ  
ている



いるためか冬場は寒く、以前は石油ストーブを2台置いていたという仁井加さん。それがペレットストーブを置いて一変したといいます。「石油ストーブだと部分的に暖まる感じですが、ペレットストーブは部屋全体が暖かくなるので、一画を作業場としても使っている私にはとても助かります。これ一台で石油ストーブ2台分以上の働きをしてくれています」と喜びを語ります。

てまず行うのがペレットストーブの掃除です。ペレットの燃えカスや灰を取り除き各所を点検した後、きれいに布巾がけてペレットを補給します。火がおこるまで少し時間がかかるので、朝は石油ストーブを併用し、暖かくなるとペレットストーブだけにします。「暖かくなるまで時間がかかりませんが、いったん暖かくなるとすぐ暖かいです。そのうえ一月6千円も経費が安くなりました。今後も灯油は安くならないのに、ペレットを使うメリットは大きいと思います。メンテナンスは面倒ですが、経費の節減にもなるし、空気も汚れないので化石燃料に比べて気分もいいですね」と話しています。

## 経費節減に一役

本村自治振興区では、平成20年度に当時の本村公民館に市が導入したペレットストーブを、現在の自治振興センターに移転した後も愛用してきました。

**ペレットストーブのメリット**

薪の3倍の熱量がある(重量比)。デザイン性が高く、種類が豊富。煙は少なく、燃料管理が楽。炎の調整など操作、煙突掃除が簡単。炎や木のおいを楽しめる。手が汚れにくい。 など

●デメリットも知っておこう  
停電すると使えない機種が多い。薪ほどではないが灰が出る。こまめな掃除が必要。 など

## 庄原産の木質ペレットで 地産地消を



本村自治振興区  
事務局長 小野寺信一さん  
事務局長 森永律子さん

火が見えるのがとてもいいですね。ペレットストーブの使い方や手引書があれば、もっと誰もが楽に使えるようになるのではないのでしょうか。

ペレットストーブに欠かさない木質ペレットを製造販売している国内有数の会社「庄原市」にあります。

市は豊富な森林資源の活用を目的に、市内木材を原料にした木質ペレットを製造する第三セクター「庄原さとやまペレット株式会社」を平成21年11月に設立。製造されたペレットは市内の公共施設を中心に使用されています。

しかしながら、庄原産ペレットのこれまでの評価は決していいものではありませんでした。「灰が多く出る」という点。そうした利用者からの声について同社の本山輝俊工場長に話を聞きました。



庄原さとやまペレット株式会社  
本山輝俊 工場長

木質ペレットは当社がバイオニアと言う自負がありますし、常に良いものを供給したいと思っています。ご指摘の部分は以前からありましたが、そうした声を改善につなげ品質の向上に努めています。どんなペレットにもメリットとデメリットがあります。当社のペレットは茶色く、灰が多く出るというデメリットがありますが、ストーブをこまめに掃除していただければ問題なくお使いいただけます。メリットは柔らかくてやさしいヒノキ

のいい香りがする点です。最近では瀬戸内沿岸部の業者などから注文をいただくことが増え、年間10 t くらいご利用いただいておりますが、ペレットの品質が原因で不具合があったり、トラブルが起きたりということはほとんどありません。取り引きいただいている業者からも評価していただいております。また、ペレットの相性もあります。庄原産ペレットに適したストーブもありますので、ご相談ください。

